

【A年】

顯現後第二主日

全能の神よ、あなたは永遠のみ言葉であるみ子の受肉のうち、に、まことの道を現されました。どうかわたしたちを導き、全人類の救いのもとである主に、すべてをゆだねさせてください。父と聖靈とともに一体であつて世々に生き支配しておられる主イエス・キリストによつてお願ひいたします。

司祭 「聖書のみ言葉を聞きましょう」

旧約聖書

会衆は着席する。

朗讀者 「旧約聖書はイザヤ書第四十九章一節から」

1 島々よ、わたしに聞け
遠い国々よ、耳を傾けよ。
主は母の胎にあるわたしを呼び
母の腹にあるわたしの名を呼ばれた。

2わたしの口を鋭い剣として御手の陰に置き
わたしを尖らせた矢として矢筒の中に隠して
わたしに言われた
3わたしは思った
あなたによつてわたしの輝きは現れる、と。
4わたしは思つた
わたしはいたずらに骨折り
うつろに、空しく、力を使い果たした、と。
しかし、わたしを裁いてくださるのは主であり
働くに報いてくださるのもわたしの神である。
5主の御目にわたしは重んじられている。
わたしの神こそ、わたしの力。
今や、主は言われる。
ヤコブを御もとに立ち帰らせ
イスラエルを集めるために
母の胎にあつたわたしを
御自分の僕として形づくられた主は
6こう言われる。
わたしはあなたを僕として
ヤコブの諸部族を立ち上がらせ
イスラエルの残りの者を連れ帰らせる。
だがそれにもまして
わたしはあなたを国々の光とし
わたしの救いを地の果てまで、もたらす者とする。
7イスラエルを贖う聖なる神、主は

アーメン

ひとに侮られ、国々に忌むべき者とされ
支配者らの僕とされた者に向かって、言われる。
王たちは見て立ち上がり、君侯はひれ伏す。
眞実にいますイスラエルの聖なる神、主が

あなたを選ばれたのを見て。

朗読者 「旧約聖書を終わります」

詩編

第四十編 第一～十節

腰掛けたままで、一節ずつ交互に唱えます。

1 わたしは切に主を呼び求め = 神は、耳を傾けてわたしの叫びを聞き入れられた
2 減びの穴、泥沼からわたしを引き上げ = 足を岩の上に立
3 神はわたしの口に新しい歌、わたしたちの神への賛美の歌たを授けられた = 多くの人はこれを見て畏れ、主を頼みとするようになる
4 幸いな人は主に信頼し = むなしい偶像や偽りの神のも

5 わたしの神、主よ、あなたは多くのことをしてくださいました。
その不思議なみ業と計らいは、わたしたちのため = あなたに並ぶものはいなし

6 わたしがそれを告げ知らせても = すべてを語り尽くすことはできない

7 あなたはわたしの耳を開かれた。いにえと供え物を喜ばれず = 燔祭と罪祭のいけにえをわたしに求められない
8 そのときわたしは言つた、「わたしはここに来ている = わたしのことは巻物の書に記されている」

9 わたしの神よ、み旨を行なうことはわたしの喜び = あなたたの律法はわたしの心に刻まれている
10 わたしは人びとの集いであなたの救いのみ業を告げ知らせ = 決して口を閉じることがない。主よ、あなたはそれを知つておられる

使徒書

朗読者 「使徒書はコリントの信徒への手紙 I 第一章一節から」

1 神の御心によつて召されてキリスト・イエスの使徒となつた。パウロと、兄弟ソステネから、2 コリントにある神み

の教会へ、すなわち、至るところでわたしたちの主イエス

・キリストの名を呼び求めているすべての人と共に、キリスト・イエスによつて聖なる者とされた人々、召されて聖なる者とされた人々へ。イエス・キリストは、この人たちとわたしたちの主であります。3 わたしたちの父である神と主イエス・キリストからの恵みと平和が、あなたがたにあるように。

4 わたしは、あなたがたがキリスト・イエスによつて神の恵みを受けたことについて、いつもわたしの神に感謝してあります。5 あなたがたはキリストに結ばれ、あらゆる知識において、すべての点で豊かにされています。6 こうして、キリストについての証しがあなたがたの間で確かなものとなつたので、7 その結果、あなたがたは賜物に何一つ欠けるところがなく、わたしたちの主イエス・キリストの現れを待ち望んでいます。8 主も最後まであなたがたをしつかり支えて、わたしたちの主イエス・キリストの日に、非のうちどころのない者にしてくださいます。9 神は眞実な方です。この神によつて、あなたがたは神の子、わたしたちの主イエス・キリストとの交わりに招き入れられたのです。

朗讀者 「使徒書を終わります」

一同立つ。

ここで聖歌を歌う。

福音書

司祭 会衆
「主は皆さんとともに」
「また、あなたとともに」
「聖ヨハネによる福音書第一二十九節以下に記された主イエス・キリストの福音。主に栄光」

29 その翌日、ヨハネは、自分の方へイエスが来られるのを見て言つた。「見よ、世の罪を取り除く神の小羊だ。30 わたしの後から一人の人が来られる。その方はわたしにまさる。わたしよりも先におられたからである」とわたしが言つたのは、この方のことである。31 わたしはこの方を知らなかつた。しかし、この方がイスラエルに現れるために、わたしは、水で洗礼を授けに来た。」32 そしてヨハネは証しした。「わたしは、『靈』が鳩のようになから降つて、この方の上にとどまるのを見た。33 わたしはこの方を知らなかつた。しかし、水で洗礼を授けるためにわたしをお遣わしになつた方が、「『靈』が降つて、ある人ととどまるのを見たら、その人が、聖靈によって洗礼を授ける人である」とわたしに言つた。34 わたしはそれを見た。だから、この方こそ神の子と言つたのであると証ししたのである。」

35 その翌日、また、ヨハネは「一人の弟子と一緒にいた。^{よくじつ}
そして、歩いておられるイエスを見つめて、「見よ、神の小羊こひつ^{かみ}」³⁶
だ」と言つた。³⁷二人の弟子はそれを聞いて、イエスに従つた。³⁸
イエスは振り返り、彼らが従つて来るのを見て、「何なに」³⁹先生せんせい
を求めているのか」と言われた。彼らが、「ラビ——『先生』⁴⁰
という意味——どこに泊まつておられるのですか」と言うと、
39 イエスは、「来なさい。そうすれば分かる」と言われた。
そこで、彼らはついて行つて、どこにイエスが泊まつておら
れるかを見た。そしてその日は、イエスのもとに泊まつた。
午後四時ごじごろのことである。⁴⁰ ヨハネの言葉ことばを聞いて、イ
エスに従つた一人のうちの一人は、シモン・ペトロの兄弟きょうだい
アンデレであつた。⁴¹ 彼は、まず自分の兄弟きょうだいシモンに会つ
て、「わたしたちはメシア——『油あぶらを注そそがれた者もの』⁴²」
——に出会つた」と言つた。

司祭
会衆
「主に感謝かんしゃします」

「^{しゅ}主に^{かんしゃ}感謝かんしゃ」